

消食表第 752 号

令和 6 年 2 月 6 日

各 $\left(\begin{array}{l} \text{都道府県知事} \\ \text{保健所設置市長} \\ \text{特別区長} \end{array} \right)$ 殿

消費者庁次長

(公 印 省 略)

「食品表示基準について」の一部改正について

今般、「食品、添加物等の規格基準」（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）が一部改正され、同告示第 2 添加物に定める D 成分規格・保存基準各条において、新たに設定された添加物や既存の添加物の名称が変更等されたことから、「食品表示基準について」（平成 27 年 3 月 30 日付け消食表第 139 号消費者庁次長通知）のうち、別添 添加物 2-1 の「既存添加物名簿収載品目リスト」と、別添 添加物 2-3 の「一般に食品として飲食に供されている物であって添加物として使用される品目リスト」、別添 アレルゲンを含む食品に関する表示の別表 2 の「特定原材料等由来の添加物についての表示例」を別紙新旧対照表のとおり改正しましたので、関係者に対する周知をお願いします。

(別 紙)

食品表示基準について（新旧対照表）

改正後（新）						改正前（旧）							
食品表示基準について（平成27年3月30日消費表第139号）						食品表示基準について（平成27年3月30日消費表第139号）							
（総則関係）～別添 添加物 1－6 （略）						（総則関係）～別添 添加物 1－6 （略）							
別添 添加物 2－1						別添 添加物 2－1							
既存添加物名簿収載品目リスト						既存添加物名簿収載品目リスト							
番号	品 名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考	番号	品 名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名 称	別 名						名 称	別 名				
1	(略)						1	(略)					
2	(略)						2	(略)					
3	(略)						3	(略)					
4	アグロバクテリウムスクシノグリカン (アグロバクテリウムの培養液から得られた、スクシノグリカンを主成分とするものをいう。)	スクシノグリカン	(削除)	※	増粘安定剤	Agrobacterium Succinoglycan	4	アグロバクテリウムスクシノグリカン (アグロバクテリウムの培養液から得られた、スクシノグリカンを主成分とするものをいう。)		スクシノグリカン	細菌 (Agrobacterium tumefaciences) の培養液より、分離して得られた多糖類である。主成分はスクシノグリカンである。	増粘安定剤	Agrobacterium succinoglycan
5	(略)						5	(略)					
6	アスコルビン酸オキシダーゼ	アスコルベートオキシダーゼ ビタミンCオキシダーゼ	オキシダーゼ V.Cオキシダーゼ	※	酵素	Ascorbate Oxidase	6	アスコルビン酸オキシダーゼ	アスコルベートオキシダーゼ ビタミンCオキシダーゼ	オキシダーゼ V.Cオキシダーゼ	※	酵素	Ascorbate Oxidase
7	(略)						7	(略)					
8	(略)						8	(略)					
9	アスペルギルス・テレウス糖たん白質 (アスペルギルス・テレウスの培養液から得られた、糖タンパク質を主成分とするものをいう。)	ムタステイン		※	製造用剤	Aspergillus Terreus Glycoprotein	9	アスペルギルス・テレウス糖たん白質 (アスペルギルス・テレウスの培養液から得られた、糖タンパク質を主成分とするものをいう。)	ムタステイン		糸状菌 (Aspergillus terreus) によるブドウ糖、澱粉及び大豆ミールの発酵培養液を除菌し、硫酸アンモニウムにより分画した後、脱塩して得られたものである。主成分は糖タンパク質である。	製造用剤	Aspergillus terreus glycoprotein
10	(略)						10	(略)					
11	(略)						11	(略)					
12	アナトー色素 (ベニノキの種		アナトー カロチノイド	ベニノキ科ベニノキ (Bixa orellana LINNE) の種子の被覆物より、熱時油脂若し	着色料	Annatto Extract	12	アナトー色素 (ベニノキの種		アナトー カロチノイド	※	着色料	Annatto Extract

95	(略)								
96	(略)								
97	(略)								
98	(略)								
99	(略)								
100	(略)								
101	(略)								
102	グルコサミン			※	増粘安定剤 製造用剤	Glucosamine			
103	(略)								
104	(略)								
105	(略)								
106	α-グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビア (「ステビア抽出物」から得られた、α-グルコシルステビオシドを主成分とするものをいう。)	酵素処理ステビア	ステビア ステビア甘味料 糖転移ステビア	※	甘味料	α-Glucosyltransferase Treated Stevia			
	α-グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビアオリゴ糖配糖体	酵素処理ステビアオリゴ糖配糖体		※		α-Glucosyltransferase Treated Steviol Glycosides			
107	(略)								
108	(略)								
109	(略)								
110	(略)								
111	(略)								
112	(略)								
113	(略)								
114	(略)								
115	くん液 (サトウキビ、竹材、トウモロコシ又は木材を燃焼して発生したガス成分を捕集し、又は乾溜して得られたものをいう。)	スモークフレーバー	木酢液 リキッドスモーク	※	製造用剤	Smoke Flavourings			
	(削除)								
	(削除)								
116	(略)								
117	ゲンチアナ抽出物 (ゲンチアナの根又は根茎から得られた、アマロゲンチン及びゲンチオピクロシドを主成分とするものをいう。)			※	苦味料等	Gentian Root Extract			

95	(略)								
96	(略)								
97	(略)								
98	(略)								
99	(略)								
100	(略)								
101	(略)								
102	グルコサミン						「キチン」を、塩酸で加水分解し、分離して得られたものである。成分はグルコサミンである。	増粘安定剤 製造用剤	Glucosamine
103	(略)								
104	(略)								
105	(略)								
106	α-グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビア (「ステビア抽出物」から得られた、α-グルコシルステビオシドを主成分とするものをいう。)	酵素処理ステビア	ステビア ステビア甘味料 糖転移ステビア	※	甘味料	α-Glucosyltransferase Treated Stevia			
	(新設)								
107	(略)								
108	(略)								
109	(略)								
110	(略)								
111	(略)								
112	(略)								
113	(略)								
114	(略)								
115	くん液 (サトウキビ、竹材、トウモロコシ又は木材を燃焼して発生したガス成分を捕集し、又は乾溜して得られたものをいう。)	スモークフレーバー	木酢液 リキッドスモーク		製造用剤	Smoke Flavourings	サトウキビ、竹材、トウモロコシ又は木材を、乾溜して得られたものである。 サトウキビ、竹材、トウモロコシ又は木材を、限定された空気の下で、燃焼して発生したガス成分を捕集して得られたものである。	Smoke Flavourings Wood vinegar Pyroligneous acid Liquid smoke	
116	(略)								
117	ゲンチアナ抽出物 (ゲンチアナの根又は根茎から得られた、アマロゲンチン及びゲンチオピクロシドを主成分とするものをいう。)				苦味料等	Gentian root extract	リンドウ科ゲンチアナ (<i>Gentiana lutea</i> LINNE) の根又は根茎より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。有効成分はゲンチオピクロシド (ゲンチオピクリン) 及びアマロゲンチンである。	苦味料等	Gentian root extract

118	高級脂肪酸 (動植物性油脂 又は動植物性硬 化油脂を加水分 解して得られた ものをいう。)		脂肪酸	動植物性油脂又は動植物性硬化油脂より、加 水分解したもより得られたものである。	製造用剤	Higher Fatty Acid	118	高級脂肪酸 (動植物性油脂 又は動植物性硬 化油脂を加水分 解して得られた ものをいう。)		脂肪酸	※ (令和3年6月17日以前に製造され、加工さ れ、又は輸入されるものについては、なお従前 の例によることができる。)	製造用剤	Higher fatty acid
	高級脂肪酸 (カプリル酸)		脂肪酸(カプリ ル酸)	※		Higher Fatty Acid (Caprylic Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (カプリン酸)		脂肪酸(カプリ ン酸)	※		Higher Fatty Acid (Capric Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (ステアリン 酸)		脂肪酸(ステア リン酸)	※		Higher Fatty Acid (Stearic Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (パルミチン 酸)		脂肪酸(パルミ チン酸)	※		Higher Fatty Acid (Palmitic Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (ベヘニン酸)		脂肪酸(ベヘニ ン酸)	※		Higher Fatty Acid (Behenic Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (ミリスチン 酸)		脂肪酸(ミリス チン酸)	※		Higher Fatty Acid (Myristic Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (ラウリン酸)		脂肪酸(ラウリ ン酸)	※		Higher Fatty Acid (Lauric Acid)		(新設)					
119	香辛料抽出物 (アサノミ、ア サフェチダ、ア ジョワン、アニ ス、アンゼリ カ、ウイキョ ウ、ウコン、オ ールスパイス、 オレガノ、オレ ンジビール、カ シヨウ、カッシ ア、カモミール、カラシナ、 カルダモン、カ レーリーフ、カ ンゾウ、キャラ ウエー、クチナ シ、クミン、ク レゾン、クロー ブ、ケシノミ、 ケーパー、コシ ヨウ、ゴマ、コ リアンダー、サ ツサフラス、サ フラン、サボリ ー、サルビア、 サンショウ、シ ソ、シナモン、 ジャロット、ジ ュニバーベリ ー、ショウガ、 スターアニス、 スペアミント、 セイヨウワサ ビ、セロリー、 ソーレル、タイ ム、タマネギ、 タマリンド、タ ラゴン、チャイ ブ、ディル、ト	スパイス抽出物	香辛料 スパイス	※	苦味料等	Spice Extracts	119	香辛料抽出物 (アサノミ、ア サフェチダ、ア ジョワン、アニ ス、アンゼリ カ、ウイキョ ウ、ウコン、オ ールスパイス、 オレガノ、オレ ンジビール、カ シヨウ、カッシ ア、カモミール、カラシナ、 カルダモン、カ レーリーフ、カ ンゾウ、キャラ ウエー、クチナ シ、クミン、ク レゾン、クロー ブ、ケシノミ、 ケーパー、コシ ヨウ、ゴマ、コ リアンダー、サ ツサフラス、サ フラン、サボリ ー、サルビア、 サンショウ、シ ソ、シナモン、 ジャロット、ジ ュニバーベリ ー、ショウガ、 スターアニス、 スペアミント、 セイヨウワサ ビ、セロリー、 ソーレル、タイ ム、タマネギ、 タマリンド、タ ラゴン、チャイ ブ、ディル、ト	スパイス抽出物	香辛料 スパイス	アサノミ、アサフェチダ、アジョワン、アニ ス、アンゼリカ、ウイキョウ、ウコン、オレガ ノ、オールスパイス、オレンジビール、カシ ヨウ、カッシア、カモミール、カラシナ、カルダ モン、カレーリーフ、カンゾウ、キャラウエ ー、クチナシ、クミン、クレゾン、クローブ、 ケシノミ、ケーパー、コシヨウ、ゴマ、コリア ンダー、サツサフラス、サフラン、サボリー、 サルビア、サンショウ、シソ、シナモン、シャ ロット、ジュニバーベリー、ショウガ、スター アニス、スペアミント、セイヨウワサビ、セロ リー、ソーレル、タイム、タマネギ、タマリ ンド、タラゴン、チャイブ、ディル、トウガラ シ、ナツメグ、ニガヨモギ、ニジェラ、ニンジ ン、ニンニク、バジル、バセリ、ハッカ、パニ ラ、パブリカ、ヒソップ、フェネグリーク、ペ パーミント、ホースミント、マジョラム、ミョ ウガ、ラベンダー、リンデン、レモングラス、 レモンバーム、ローズ、ローズマリー、ローレ ル又はワサビより水、エタノール、二酸化炭素 若しくは有機溶剤で抽出して得られたもの、又 は水蒸気蒸留により得られたものである。	苦味料等	Spice extracts

<p>ウガラシ、ナツメグ、ニガヨモギ、ニジェラ、ニンジン、ニンニク、バジル、パセリ、ハッカ、バニラ、パブリカ、ヒソップ、フェネグリーク、ペパーミント、ホースミント、マジョラム、ミョウガ、ラベンダー、リンデン、レモングラス、レモンバーム、ローズ、ローズマリー、ローレル又はワサビから抽出し、又はこれを水蒸気蒸留して得られたものをいう。ただし、「ウコン色素」、「オレガノ抽出物」、「オレンジ色素」、「カラシ抽出物」、「カンゾウ抽出物」、「カンゾウ油性抽出物」、「クチナシ黄色素」、「クローブ抽出物」、「ゴマ油不けん化物」、「シソ抽出物」、「ショウガ抽出物」、「精油除去ウイキョウ抽出物」、「セイヨウワサビ抽出物」、「セージ抽出物」、「タマネギ色素」、「タマリンド色素」、「タマリンドシードガム」、「タンニン(抽出物)」、「トウガラシ色素」、「トウガラシ水性抽出物」、「ニガヨモギ抽出物」、「ニンジンカロテン」及び「ローズマリー抽出物」を除く。）</p>							<p>ウガラシ、ナツメグ、ニガヨモギ、ニジェラ、ニンジン、ニンニク、バジル、パセリ、ハッカ、バニラ、パブリカ、ヒソップ、フェネグリーク、ペパーミント、ホースミント、マジョラム、ミョウガ、ラベンダー、リンデン、レモングラス、レモンバーム、ローズ、ローズマリー、ローレル又はワサビから抽出し、又はこれを水蒸気蒸留して得られたものをいう。ただし、「ウコン色素」、「オレガノ抽出物」、「オレンジ色素」、「カラシ抽出物」、「カンゾウ抽出物」、「カンゾウ油性抽出物」、「クチナシ黄色素」、「クローブ抽出物」、「ゴマ油不けん化物」、「シソ抽出物」、「ショウガ抽出物」、「精油除去ウイキョウ抽出物」、「セイヨウワサビ抽出物」、「セージ抽出物」、「タマネギ色素」、「タマリンド色素」、「タマリンドシードガム」、「タンニン(抽出物)」、「トウガラシ色素」、「トウガラシ水性抽出物」、「ニガヨモギ抽出物」、「ニンジンカロテン」及び「ローズマリー抽出物」を除く。）</p>							
120 (略)							120 (略)							
121 (略)							121 (略)							
122 (略)							122 (略)							
123 (略)							123 (略)							

124	酵素処理レシチン (「植物レシチン」又は「卵黄レシチン」から得られた、ホスファチジルグリセロールを主成分とするものをいう。)		レシチン	※	乳化剤	Enzymatically Modified Lecithin	124	酵素処理レシチン (「植物レシチン」又は「卵黄レシチン」から得られた、ホスファチジルグリセロールを主成分とするものをいう。)		レシチン	「植物レシチン」又は「卵黄レシチン」とグリセリンの混合物に、ホスホリバーゼDを用いて得られたものである。主成分はホスファチジルグリセロールである。	乳化剤	Enzymatically modified lecithin
125	(略)						125	(略)					
126	(略)						126	(略)					
127	(略)						127	(略)					
128	(略)						128	(略)					
129	(略)						129	(略)					
130	(略)						130	(略)					
131	(略)						131	(略)					
132	(略)						132	(略)					
133	(略)						133	(略)					
134	(略)						134	(略)					
135	(略)						135	(略)					
136	(略)						136	(略)					
137	(略)						137	(略)					
138	コメヌカロウ (米ぬか油から得られた、リグノセリン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	コメヌカワックス ライスワックス	植物ワックス	※	ガムベース 光沢剤	Rice Bran Wax	138	コメヌカロウ (米ぬか油から得られた、リグノセリン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	コメヌカワックス ライスワックス	植物ワックス	イネ科イネ (Oryza sativa LINNE) の種子より得られる米ぬか油より、分離して得られたものである。主成分はリグノセリン酸ミリシルである。	ガムベース 光沢剤	Rice bran wax
139	(略)						139	(略)					
140	サトウキビロウ (サトウキビの茎から得られた、パルミチン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	カーンワックス ケーンワックス	植物ワックス	※	ガムベース 光沢剤	Cane Wax	140	サトウキビロウ (サトウキビの茎から得られた、パルミチン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	カーンワックス ケーンワックス	植物ワックス	イネ科サトウキビ (Saccharum officinarum LINNE) の茎の搾汁残渣より、分離、精製して得られたものである。主成分はパルミチン酸ミリシルである。	ガムベース 光沢剤	Cane wax
141	サバクヨモギシードガム (サバクヨモギの種皮から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	アルテミアシードガム サバクヨモギ種子多糖類		※	製造用剤 増粘安定剤	Artemisia Seed Gum	141	サバクヨモギシードガム (サバクヨモギの種皮から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	アルテミアシードガム サバクヨモギ種子多糖類		キク科サバクヨモギ (Artemisia halodendron TURCZ. ex BESS., Artemisia ordosica KRASCHEN., Artemisia sphaerocephala KRASCH) の種子の外皮を、脱脂、乾燥して得られたものである。主成分は、α-セルロースを基本骨格に持つ、中性多糖類及び酸性多糖類である。	製造用剤 増粘安定剤	Artemisia sphaerocephala seed gum Artemisia seed gum
142	(略)						142	(略)					
143	(略)						143	(略)					
144	(略)						144	(略)					
145	(略)						145	(略)					
146	シェラック (ラックカイガラムシの分泌液から得られた、アレウリチン酸とシェロール酸又はアレウリチン酸とジャラル酸のエステルを主成分とするものをいう。)	セラック		(削除)	ガムベース 光沢剤	Shellac	146	シェラック (ラックカイガラムシの分泌液から得られた、アレウリチン酸とシェロール酸又はアレウリチン酸とジャラル酸のエステルを主成分とするものをいう。)	セラック		※	ガムベース 光沢剤	Shellac
	シェラック (白シェラック)	セラック (白セラック)	白シェラック 白セラック 白ラック	※		Shellac (White Shellac)		白シェラック		白セラック 白ラック	※		
	シェラック (精製セラック)	セラック (精製セラック)	精製シェラック 精製セラック	※		Shellac (Purified Shellac)		精製シェラック		精製セラック	※		

258	(略)					
259	(略)					
260	(略)					
261	ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ又はブドウの果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものをいう。)	エノシアン	アントシアニン アントシアニン色素 ブドウ色素	※	着色料	Grape Skin Extract Grape Skin Color
262	(略)					
263	(略)					
264	(略)					
265	(略)					
266	(略)					
267	(略)					
268	(略)					
269	(略)					
270	(略)					
271	(略)					
272	L-プロリン		プロリン	※	調味料 強化剤	L-Proline
	L-プロリン液			※		L-Proline Solution
273	(略)					
274	(略)					
275	(略)					
276	(略)					
277	(略)					
278	(略)					
279	(略)					
280	(略)					
281	(略)					
282	(略)					
283	(略)					
284	(略)					
285	(略)					
286	(略)					
287	(略)					
288	(略)					
289	(略)					
290	ヘプタン			※	製造用剤	Heptane
291	(略)					
292	(略)					
293	(略)					
294	(略)					
295	(略)					
296	(略)					
297	(略)					
298	(略)					
299	没食子酸			※	酸化防止剤	Gallic Acid
300	(略)					

258	(略)					
259	(略)					
260	(略)					
261	ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ又はブドウの果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものをいう。)	エノシアン	アントシアニン アントシアニン色素 ブドウ色素	※	着色料	Grape Skin Color Grape Skin Extract
262	(略)					
263	(略)					
264	(略)					
265	(略)					
266	(略)					
267	(略)					
268	(略)					
269	(略)					
270	(略)					
271	(略)					
272	L-プロリン		プロリン	※	調味料 強化剤	L-Proline
	(新設)					
273	(略)					
274	(略)					
275	(略)					
276	(略)					
277	(略)					
278	(略)					
279	(略)					
280	(略)					
281	(略)					
282	(略)					
283	(略)					
284	(略)					
285	(略)					
286	(略)					
287	(略)					
288	(略)					
289	(略)					
290	ヘプタン				石油成分中、n-ヘプタンの沸点付近の留分である。	製造用剤 Heptane
291	(略)					
292	(略)					
293	(略)					
294	(略)					
295	(略)					
296	(略)					
297	(略)					
298	(略)					
299	没食子酸				ウルシ科ヌルデ (Rhus javanica LINNE) に発生する五倍子、ブナ科 (Quercus infectoria OLIV.) に発生する没食子より、水、エタノール又は有機溶剤で抽出したタンニン、又はマメ科タラ (Caesalpinia spinosa (MOLINA) KUNTZE) の実の夾より、温時水で抽出したタンニンを、アルカリ又は酵素 (タンナーゼ) により加水分解して得られたものである。成分は没食子酸である。	酸化防止剤 Gallic acid
300	(略)					

301	(略)						
302	(略)						
303	(略)						
304	(略)						
305	(略)						
306	(略)						
307	(略)						
308	(略)						
309	(略)						
310	(略)						
311	(略)						
312	(略)						
313	(略)						
314	ミルラ (ボツヤクの分泌液から抽出して得られたものをいう。)	ミル		※	ガムベース	Myrrh	
315	(略)						
316	(略)						
317	(略)						
318	(略)						
319	(略)						
320	メバロン酸			※	製造用剤	Mevalonic Acid	
321	(略)						
322	(略)						
323	(略)						
324	(略)						
325	(略)						
326	モクロウ (ハゼノキの果実から得られた、グリセリンパルミタートを主成分とするものをいう。)	日本ロウハゼ脂	植物ワックス	※	ガムベース	Japan Wax	
327	(略)						
328	(略)						
329	(略)						
330	(略)						
331	(略)						
332	(略)						
333	(略)						
334	(略)						
335	(略)						
336	(略)						
337	(略)						
338	(略)						
339	(略)						
340	L-リシン	L-リジン	リシン リジン	※	調味料 強化剤	L-Lysine	
	<u>L-リシン液</u>	<u>L-リジン液</u>		※		<u>L-Lysine Solution</u>	
341	(略)						
342	(略)						
343	(略)						
344	(略)						
345	(略)						

301	(略)						
302	(略)						
303	(略)						
304	(略)						
305	(略)						
306	(略)						
307	(略)						
308	(略)						
309	(略)						
310	(略)						
311	(略)						
312	(略)						
313	(略)						
314	ミルラ (ボツヤクの分泌液から抽出して得られたものをいう。)	ミル				<u>カンラン科ボツヤク (Commiphora mukul ENGL.) の分泌液より、低沸点部を蒸留により除去し、室温時エタノールで抽出し、エタノールを留去して得られたものである。成分としてロミホールを含む。</u>	ガムベース Myrrh
315	(略)						
316	(略)						
317	(略)						
318	(略)						
319	(略)						
320	メバロン酸					<u>酵母 (Saccharomyces fibuligera) によるコーンスチープリカー又はカゼイン由来のペプトンを主原料とする発酵培養液より、有機溶剤で抽出して得られたものである。成分はメバロン酸である。</u>	製造用剤 Mevalonic acid
321	(略)						
322	(略)						
323	(略)						
324	(略)						
325	(略)						
326	モクロウ (ハゼノキの果実から得られた、グリセリンパルミタートを主成分とするものをいう。)	日本ロウハゼ脂	植物ワックス			<u>キクウルシ科ハゼノキ (Rhus succedanea LINNE) の果実より、融解、さらしたものであり得られたものである。主成分はグリセリンパルミタートである。</u>	カムベース Japan wax
327	(略)						
328	(略)						
329	(略)						
330	(略)						
331	(略)						
332	(略)						
333	(略)						
334	(略)						
335	(略)						
336	(略)						
337	(略)						
338	(略)						
339	(略)						
340	L-リシン	L-リジン	リシン リジン	※			調味料 強化剤 L-Lysine
	<u>(新設)</u>						
341	(略)						
342	(略)						
343	(略)						
344	(略)						
345	(略)						

346	(略)								
347	(略)								
348	ルチン (抽出物) (アズキの全草、エンジュのつぼみ若しくは花又はソバの全草から得られた、ルチンを主成分とするものをいう。)		フラボノイドルチン アズキ全草抽出物 エンジュ抽出物 ソバ全草抽出物	※	酸化防止剤 着色料	Rutin (Extract)			
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
349	(略)								
350	レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくは子実体又はその培養液から抽出して得られたものをいう。)	マンネンタケ抽出物	レイシ	サルノコシカケ目マンネンタケ (<i>Ganoderma lucidum</i> KARST.) の菌糸体若しくは子実体、又はその培養液より、水、エタノール又は二酸化炭素で抽出して得られたものである。	苦味料等	Mannentake Extract			
	レイシ抽出物 (子実体)	マンネンタケ抽出物 (子実体)	レイシ (子実体)	※		Carpophore Derived Mannentake Extract (Fruiting body)			
351	(略)								
352	(略)								
353	(略)								
354	(略)								
355	(略)								
356	ロジン (マツの分泌液から得られた、アビエチン酸を主成分とするものをいう。)	ロジン		※	ガムベース	Rosin			
357	ローズマリー抽出物 (マンネンロウの葉又は花から得られた、カルノシン酸、カルノソール及びロスマノールを主成分とするものをいう。)	マンネンロウ抽出物		※	酸化防止剤	Rosemary Extract			
	ローズマリー抽出物 (水溶性)	マンネンロウ抽出物 (水溶性)		※		Rosemary Extract (Water Soluble)			
	ローズマリー抽出物 (非水溶性)	マンネンロウ抽出物 (非水溶性)		※		Rosemary Extract (Water Insoluble)			

346	(略)								
347	(略)								
348	ルチン (抽出物) (アズキの全草、エンジュのつぼみ若しくは花又はソバの全草から得られた、ルチンを主成分とするものをいう。)		フラボノイドルチン		酸化防止剤 着色料	Rutin (extract)			
	エンジュ抽出物			※		Enju Extract Japanese Pagoda Tree Extract			
	アズキ全草抽出物					マメ科アズキ (<i>Azuki angularis</i> OHWI) の全草より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はルチンである。			Azuki extract
	ソバ全草抽出物					タデ科ソバ (<i>Fagopyrum esculentum</i> MOENCH) の全草より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はルチンである。			Buckwheat extract
349	(略)								
350	レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくは子実体又はその培養液から抽出して得られたものをいう。)	マンネンタケ抽出物	レイシ	サルノコシカケ目マンネンタケ (<i>Ganoderma lucidum</i> KARST.) の菌糸体若しくは子実体、又はその培養液より、水、エタノール又は二酸化炭素で抽出して得られたものである。	苦味料等	Mannentake extract			
	(新設)								
351	(略)								
352	(略)								
353	(略)								
354	(略)								
355	(略)								
356	ロジン (マツの分泌液から得られた、アビエチン酸を主成分とするものをいう。)	ロジン			ガムベース	Rosin			
357	ローズマリー抽出物 (マンネンロウの葉又は花から得られた、カルノシン酸、カルノソール及びロスマノールを主成分とするものをいう。)	マンネンロウ抽出物			酸化防止剤	Rosemary extract			
	(新設)								
	(新設)								

※食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第2添加物の部D成分規格・保存基準各条の規定に従う。

なお、組換えDNA技術によって得られた生物を利用して製造された添加物の場合は、厚生労働大臣が定める安全性審査の手続を経た旨が公表されてなければならない。

別添 添加物 2-2 (略)

別添 2-3 一般に食品として飲食に供されている物であって添加物として使用される品目リスト

品名		簡略名又は類別名	基原・製法・本質	用途	備考
名称	別名				
アカキヤベツ色素	ムラサキキヤベツ色素	アカキヤベツ アントシアニン アントシアニン色素 野菜色素	※	着色料	Red Cabbage Color
(略)					
カゼイン	酸カゼイン	乳たん白	※	製造用剤	Casein
(略)					
ブラックカーラント色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	※	着色料	Black Currant Color
(略)					

※食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第2添加物の部D成分規格・保存基準各条の規定に従う。

別添 栄養成分等の分析方法等 (略)

別添 アレルゲンを含む食品に関する表示

別表 1 特定原材料等の範囲 (略)

別表 2

特定原材料等由来の添加物についての表示例

1 特定原材料

特定原材料の名称	区分	添加物名	特定原材料の表示	備考
(略)				
小麦	(略)			
そば	既存添加物	<u>ルチン(抽出物)</u>	(略)	
卵	既存添加物	<u>卵殻焼成カルシウム</u>	(略)	
乳及び乳製品	既存添加物	<u>乳清焼成カル</u>	(略)	

※食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第2添加物の部D成分規格・保存基準各条の規定に従う。

なお、組換えDNA技術によって得られた生物を利用して製造された添加物の場合は、厚生労働大臣が定める安全性審査の手続を経た旨が公表されてなければならない。

別添 添加物 2-2 (略)

別添 2-3 一般に食品として飲食に供されている物であって添加物として使用される品目リスト

品名		簡略名又は類別名	基原・製法・本質	用途	備考
名称	別名				
アカキヤベツ色素	ムラサキキヤベツ色素	アカキヤベツ アントシアニン アントシアニン色素 野菜色素	アブラナ科キヤベツ (Brassica oleracea LINNE var. capitata DC.) の赤い葉 (赤キヤベツ、紫キヤベツ) より、室温時弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はシアニンシルグリコシドである。赤色～紫赤色を示す。	着色料	Red cabbage colour
(略)					
カゼイン	酸カゼイン	乳たん白	生乳又は脱脂乳より、酸処理による沈殿によって得られたタンパク質である。	製造用剤	Casein
(略)					
ブラックカーラント色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	ユキノシタ科クロブサスグリ (Ribes nigrum LINNE) の果実より、搾汁したもの、又は室温時～室温時永若しくは弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はフルボニジン-3-β-D-グルコシド等である。赤色～青色を示す。	着色料	Black currant colour
(略)					

(新設)

別添 栄養成分等の分析方法等 (略)

別添 アレルゲンを含む食品に関する表示

別表 1 特定原材料等の範囲 (略)

別表 2

特定原材料等由来の添加物についての表示例

1 特定原材料

特定原材料の名称	区分	添加物名	特定原材料の表示	備考
(略)				
小麦	(略)			
そば	既存添加物	<u>ルチン(抽出物)(ソバ全草抽出物)</u>	(略)	
卵	既存添加物	<u>焼成カルシウム(卵殻焼成カルシウム)</u>	(略)	
乳及び乳製品	既存添加物	<u>焼成カルシウ</u>	(略)	

		<u>シウム</u>		
(略)				
2 特定原材料に準ずるもの				
特定原材料に準ずるものの名称	区分	添加物名	特定原材料に準ずるものの表示	備考
(略)				
<u>(削除)</u>				
(略)				
大豆	既存添加物	ばい煎ダイズ抽出物	<u>ばい煎ダイズ</u> 抽出物	(略)
(略)				
別表3 特定原材料等の代替表記等方法リスト (略)				
別添 アレルゲンを含む食品の検査方法～別添 Shellfish Growing Areas Classified for Harvest for Human Consumption in Accordance with Regulation 48 of the Animal Products (略)				

		<u>ム (乳清焼成カルシウム)</u>		
(略)				
2 特定原材料に準ずるもの				
特定原材料に準ずるものの名称	区分	添加物名	特定原材料に準ずるものの表示	備考
(略)				
<u>牛肉</u>	<u>既存添加物</u>	<u>フェリチン</u>	<u>フェリチン (牛由来)</u> <u>鉄たん白 (牛由来)</u> <u>鉄たん白質 (牛由来)</u>	<u>真皮層を含まない内臓由来のものは特定原材料等の表示不要</u>
(略)				
大豆	既存添加物	ばい煎ダイズ抽出物	<u>焙煎ダイズ</u> 抽出物	(略)
(略)				
別表3 特定原材料等の代替表記等方法リスト (略)				
別添 アレルゲンを含む食品の検査方法～別添 Shellfish Growing Areas Classified for Harvest for Human Consumption in Accordance with Regulation 48 of the Animal Products (略)				